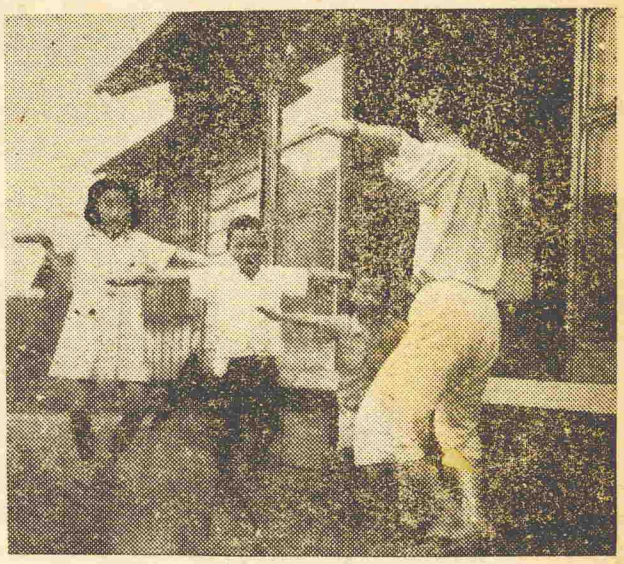
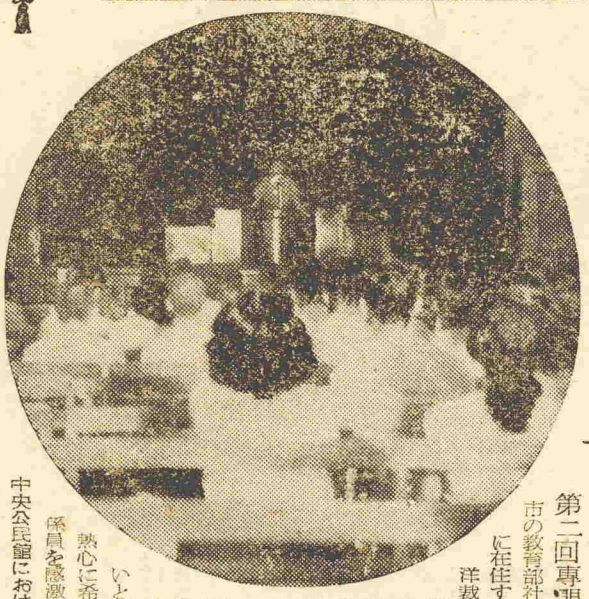
1952. 7. 15　市政だより　（月刊）　NO. 38
広報 KAGOSHIMA



サアー家楽しく体操しましよう

夏休みの健康増進はラヂオ体操から朝日と共に起きだしてお父さんも、お母さんも、皆さんも一家楽しく朝露ふんで体操だ!!（写真は毎朝ラヂオ体操を行われる健康家庭＝西田町東郷実晴さん一家）



近づく〃祇園祭〃

多彩な行事計画

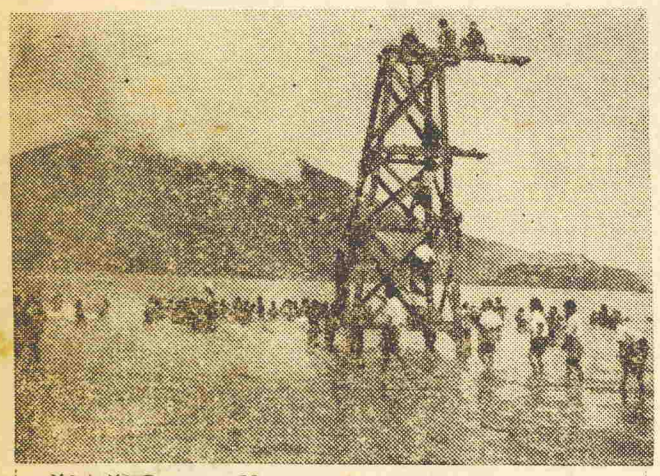
恒例の鹿児島名物行事の一つである〃祇園まつり〃は、市と商工会議所の共催で本年は独立の年を祝つて例年より賑やかに、全市を〃祇園まつり〃一色に塗りつぶそうと来る二十日から多彩な行事が催される。

1、会市運合大売出し　二十日より二七日まで　市内参加全商店
2、宣傳仮装行列　二十日　市内商店銀行、会社参加
3、宵祭り　二四日　祇園の洲八坂神社
4、御神幸　二五、六日　市内御巡幸及び照国神社

★　★

第二回専門講座開講

市の教育部社会教育課の親心で市内に在住する勤労社会人に珠算、洋裁その他の専門技術を教授した第一回専門講座は予想外の好評を生んだので本年も引続き実施します。本年は受講者の便宜を図つて会場、科目共に増設したが、締切の三日には既に定員を突破し中には座席がなければ教室の後でも受講さして下さいと子供を背負つて係員に熱心に希望するお母さんもあり係員を感激させた。（写真は7日の中央公民館における同講座の開講式）



海水浴のシーズン　河童の天国!!この明るい楽しそうな子供の顔をごらんなさい。大人ばかりでなく入道雲までさそわれてニツコリしているようです。写真は水に戯れる子供達＝磯海水浴場

献燈も明るく

六月燈始まる

南国鹿児島の夏の夜の風物詩、恒例の夏まつり六月燈は一日から市内各町で始まつた。十五日以降の日程は次のとおり。なお各所とも夏の夜の涼を求めてそゞろ歩きの市民で大変な賑である。

一五日	照国神社	山下町
〃	稲荷神社	鴨池町
一六日	照国〃	山下町
一八日	南州〃	磯〃
一九日	鶴嶽〃	武町
二〇日	建部〃	
	宇気比神社	荒田町
	西田八幡宮	荒田町
	東本願寺説教所	下荒田町
二二日	鹿児島護国神社	山下町
	日枝神社	郡元町
	鴨池、賞雲、房良町	
二三日	松原神社	
	照国稲荷像	南林寺町
	八幡神社	山下町
	磯天神	上荒田町
		磯〃
二六日	長田神社	長田町
	天之御中主神社	宇宿町
二七日	稲荷神社	新照院町
二八日	〃	春日町

スポットニュース

☆社會を明るくする運動

1日から月末まで、全国的に〃社会を明るくする運動〃が実施されています。ことしは独立の年であり、犯罪の不安のない明るい社会の建設に市民の御協力をお願いたします。

☆美術館第三期工事始まる

25年より三ケ年継続工事として完成を急いでいる美術館もいよいよ最後の工事に入り、市では 250万円を計上して8月頃着工するよう準備を進めている。

☆ニュースカーの改装整備

市では広報活動の強化をはかるため現在のトヨペットを改装、放送設備、テープコーダを装備し巡回映画各種講座に用ひる外新鋭広報車としても活躍させる。8月頃には市民にお目見得する予定である。

☆トウフに大腸菌！業者に警告

市保健所食品衛生試験室で市販のトウフについて衛生検査を行つた所、トウフ1瓦中に数万…数十万の細菌をふくみ、多数の大腸菌まで検出されてその不潔さに驚いている。同所では業者に対し消毒、清潔を励行するよう警告した。

☆パナマ帽、洋裁講習生募集

新屋敷町の市授産所では市内居住の婦人で永続的家庭内職を希望される方にパナマ帽子手編と洋裁の講習を行つているが、希望者はいつでも入所出来ますから申込まれるよう希望している。

遺家族の弔慰金

請求手続は早目に

戦没者遺家族にたいする年金と弔慰金は早く請求手続をされた方から順番で九月から支給されることになつた。これは戦傷病者、戦没者遺族等援護法にもとづいて、日華事変から大平洋戦争にかけて肉親を失つた遺家族に対して政府が暖い援護の手をさしのべ支給されるもので

弔慰金は軍人軍属には五万円、動員学徒徴用工には三万円

遺族年金は妻が一万円、子父母、祖父母孫などが五千円となつている。

市内の該当者は五千五百名に達しており六月二十三日から請求受付を開始した市福祉事務所には毎日五十名近くの人々が窓口に押かけて係員は猛暑をけとばして応待に汗だくである。同係では該当者は各遺族分会に配布してある所定の用紙に戸籍書類を添えて早目に提出されるよう望んでいる。

なお動員学徒、徴用工などの受付は八月初めから受付ける。

林芙美子文学碑建つ『花の命は短かくて苦しきことのみ多かりき』の故林女史愛唱の詩を碑文とした文学碑は各方面からの浄財4万円をもつて女史の故郷である東桜島古里町に建設、去る6月29日晴れの除幕式が行われた。これで観光桜島に新名所が誕生したわけで将来の発展が期待される。写真は故林女史及び文学碑

花ノ木苗

促成栽培を助成

市農林部の増産對策なる

市農林部では市内周辺農業経営の改善を目指して種々研究、指導を行つて来たが、消費都市を控えて極めて有利な条件に恵まれているにも拘らず、本市周辺農家の農業経営は他の生産地にくらべて相当の開きがあり、これが打開を図るため関係者の先進地視察などを行つて鋭意対策を練つていたが、この程成案を得たので近く助成指導に乗出すことになつた。

その一は水稲緊急増産対策で、これは従来の植え方を並木植に改めるよう普及するほか、除草は2・4Dを利用して労力、時間を節約して、余剰労力をノ桑などの換金作物に向けるよう指導する。このため単位農協ごとに2・4D使用講習会を開く。

その二はペーパー・ハウス（紙製の温室）によるノ桑、花卉類の促成栽培の助成指導である。このため二十七年度予算に四十万円の助成費を計上しており、とりあえず本年度は宇宿、田上方面の農家に対してペーパー・ハウス設置の指導助成を行い、将来は小野、桜島方面にも拡張する予定である。

※　※　※

百日咳の予防接種

七月ー八月上旬迄

生後間もない乳児はもちろん、小児ほとんかかり易く四、五才までは毎年相当のいたましい死亡者を出している百日セキは予防としては愚児に近よらないことであるが、この程度では不完全であるから予防ワクチンの接種を是非実施して可愛いゝ子供さんを恐ろしい病魔から護られるようお母さん方にお奨めいたします。なお予防接種の該当児は次の通り。

【初回免疫＝三回】
1、昭和二十六年四月一日ー昭和二十七年三月末日までの出生児
2、昭和二十四年七月一日ー昭昭二十六年三月末日までの出生児で昨年受けられなかつた者

【追加免疫＝一回】
昭和二十四年七月一日ー昭和二十六年三月末日までの出生児で昨年二回受けた者。

セキリは昨年の二倍

保健所予防に乗出す

ことしも伝染病のシーズンを迎えて市内のセキリ、エキリ患者数はすでに昨年の二倍に達するという憂慮すべき事態であるので市保健所では防疫班を総動員してやく六千名に上る市内飲食品取扱業者に対し保菌者検査を約一ケ月の予定で一斉に実施した。同所では悪疫から市民をまもるため業者及び一般市民の理解と協力を望んでいる。

7月の
市民映画教室
サンセット大通り
18日（金）
19日（土）
20日（日）
午前正よ
四枚の羽根
8月
8日（金）
9日（土）
10日（日）
午前正よ
料金大人30円高校生20円小人15円
中央公民館

7月の
市民レコード教室
ドビツシーの音樂
解説　山根銀五郎先生
21日午後7時より
中央公民館
入場無料

発行所　鹿児島市山下町31ノ2　鹿児島市社会教育課　（電3232）　印刷所　南日本新聞社印刷局